

令和7年度
事業報告書

社会福祉法人 やながせ福祉会
認知症対応型通所介護
大津みやび野デイサービスセンター

令和7年度 事業計画

目 標	活動意欲向上につながる支援や個々の状態に応じた機能訓練を実施していくことで、自宅生活の継続を図り、稼働率 85%以上を目指す。
理 由	現在、新規利用者が増えていることを踏まえ、利用時に楽しめる取り組みを実施していくことで利用継続につなげたいため。 また、個々の利用者の状態に応じた機能訓練を実施していくことで、住み慣れた自宅での生活の継続を図りたいため。
具体的対応策	1. 利用者の身体状態や認知症の周辺症状に関して、モニタリングを通して的確に把握し、支援内容を職員会議やミーティングで報告・検討し、担当職員間での情報共有を図る。 2. 楽しめる利用となるように、時節に応じた外出支援や余暇活動を企画し、実施する。 3. 家族や担当介護支援専門員に支援内容や活動時の様子などを報告することで、情報の共有と家族の想い、ニーズを確認する。

令和7年度 事業報告

事業報告	利用者の状態や認知症の症状について、職員間でコミュニケーションを図り、個々の認知症症状に合わせて支援を行い、レクリエーション活動を提供することができ、特に新規利用者の利用継続につなげることができた。 広報活動では、利用者様にホーム便りの配布を継続し、家族に利用時の活動や取り組み内容をお伝えすることができた。7年度より、大津みやび野のデイサービスセンターとして「お菓子デー」を取り入れることで毎月の楽しみが増えたと思う。 令和8年度は、初めてサービスを利用される新規利用者が増えたため、「デイサービスに来て良かった」と、言って頂けるような取り組みや、今後も安全に自宅生活ができる事を意識した機能訓練を実施していきたい。 また、引き続き便りを通じて、活動時の様子や事業所の取り組みを報告していくことで稼働率の上昇を図っていきたい。
事業運営総括	令和7年度は、体調不良による入院や特養・老健への入所等が重なり、11月以降に稼働率の減少がみられたことにより、年間では75%と令和6年度に比べ、大きく下がる結果となった。 そのため、令和8年度は居宅介護支援事業所への訪問や事業所の活動内容をチラシにして、地域密着型サービスとして、定期的な情報提供を強化し、認知症対応型としての周知度が高まるように働きかけていきたい。 加えて、事業所としての強みが何であるか、再度見直しながら可視化し、全職員が理解したうえで、デイサービスでの活動の様子や事業所の取り組みなど特長を報告・発信していくことで、これまで以上に事業所の周知を図り、稼働率の上昇を図っていきたい。

要介護度の状況 《平均要介護度 介護 2.05》

令和8年3月31日 現在

	人 数	割 合
要支援 1	1	4%
要支援 2	0	0%
要介護 1	5	20%
要介護 2	7	28%
要介護 3	8	32%
要介護 4	3	12%
要介護 5	1	4%
合 計	25	100%

月間利用実績（人数）

令和7年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
要支援 1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
要支援 2	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
要介護 1	12	10	11	12	12	11	12	10	9	11	9	5	124
要介護 2	6	8	8	8	5	5	5	5	6	5	7	7	75
要介護 3	7	4	4	4	5	5	5	5	5	6	7	8	65
要介護 4	5	5	5	6	6	7	6	6	5	4	3	3	61
要介護 5	1	2	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	14
合 計	33	31	31	33	30	30	30	28	27	28	28	25	354

月間利用実績（延べ人数） 《稼働率 75.1%》

令和7年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
要支援 1	4	4	5	4	4	5	4	4	4	4	4	5	51
要支援 2	3	3	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10
要介護 1	77	64	72	78	79	81	96	78	73	79	57	42	876
要介護 2	54	62	75	72	41	39	43	38	42	37	43	56	602
要介護 3	68	34	35	35	46	46	50	35	28	46	63	67	553
要介護 4	42	52	47	53	61	59	57	53	38	29	31	33	555
要介護 5	8	16	12	15	13	10	12	12	11	9	11	11	140
合 計	256	235	250	257	244	240	262	220	196	204	209	214	2,787

開所日数

令和7年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
日数	26	27	25	27	26	26	27	25	24	24	24	26	307

曜日別延べ利用実績

令和7年度

	月	火	水	木	金	土	合計
人数	483	464	475	425	520	420	2,787
割合	17%	17%	17%	15%	19%	15%	100%

1週当り平均利用人員

令和7年度

	月	火	水	木	金	土	合計	1日平均
人数	8	7.5	8.2	11	10.1	9.8	54.6	9.1
割合	17%	17%	17%	15%	19%	15%	100%	—

回数別利用人員

令和8年3月31日現在

	1回	2回	3回	4回	5回	6回	合計
人数	9	7	7	2	0	0	25
割合	36%	28%	28%	8%	0%	0%	100%

保険者の状況

令和8年3月31日現在

保険者	人数
姫路市	25
合計	25

年齢別構成状況

令和8年3月31日現在

	65歳以下	65歳以上 から 70歳未満	70歳以上 から 75歳未満	75歳以上 から 80歳未満	80歳以上 から 85歳未満	85歳以上 から 90歳未満	90歳以上	合計
男	0	0	1	2	1	4	0	8
女	0	0	0	1	4	8	4	17
全体	0	0	1	3	5	12	4	25

日常生活状況

区 分		実 数	割 合
歩 行	自 力 歩 行	20	80.0%
	杖等の歩行補助器使用	3	12.0%
	車 い す 使 用	2	8.0%
食 事	自 分 で 可 能	18	72.0%
	一 部 介 助	4	16.0%
	全 介 助	3	12.0%
入 浴	自 分 で 可 能	10	40.0%
	一 部 介 助	8	32.0%
	全 介 助	7	28.0%
着 替	自 分 で 可 能	10	40.0%
	一 部 介 助	8	32.0%
	全 介 助	7	28.0%

令和8年3月31日 現 在

区 分			実数	割合
排 泄	トイ レ	自分で可能	18	72.0%
		介 助	7	28.0%
	内 お む つ 使用		0	0.0%
認 知 症 高 齢 者			25	100.0%

対 象 人 数	25
---------	----

行事報告

	行 事	趣味・生きがい活動	レクリエーション及び体操
4 月	ドライブ：桜見学 作品作り	各種パズル 塗り絵	風船バレーボール おじゃみパケツゲーム
5 月	作品作り	各種パズル 塗り絵	おじゃみパケツゲーム フライングおじゃみゲーム
6 月	ドライブ：あじさい観賞 作品作り	各種パズル 塗り絵	ピンポンバスケット コロリングゲーム
7 月	七夕飾り作り 作品作り	各種パズル 塗り絵	ピンポンバスケットボール テーブルピンポンゲーム
8 月	作品作り 夏祭り	各種パズル 塗り絵 計算ドリル	輪投げゲーム 風船バレーボール ホッケーゲーム
9 月	作品作り	各種パズル 塗り絵 計算ドリル	おじゃみ投げ ピンポンバスケット パケツおじゃみパケツ
10 月	ドライブ：コスモス観賞 作品作り	各種パズル 塗り絵 計算ドリル	パターンゴルフ ピンポンバスケット コロリングゲーム
11 月	作品作り やながせ文化祭	各種パズル 塗り絵 計算ドリル	テーブルバスケット 蚊取りゲーム フリスビーゲーム
12 月	クリスマス会 作品作り お菓子デー	各種パズル 塗り絵 計算ドリル	パターンゴルフゲーム おじゃみ投げ テーブルカップレース
1 月	作品作り お菓子デー	各種パズル 塗り絵 計算ドリル	ゴルフゲーム おじゃみパケツ 輪投げおじゃみ
2 月	節分豆まき 作品作り お菓子デー	各種パズル 塗り絵 計算ドリル	紙コップ飛ばし おじゃみパケツ 風船バレー

	行 事	趣味・生きがい活動	レクリエーション及び体操
3 月	作品作り お菓子デー	計算ドリル 漢字トレーニング ペン習字・塗り絵	パターンゴルフ コロリングゲーム おじゃみバケツ

	行 事	趣味・生きがい活動	レクリエーション及び体操
定期的	ドライブ外出 お誕生日会 お菓子デー	・ちぎり絵	ビデオ体操・散歩・口腔体操 メドマー・マイクロサーミー ラジオ体操

職員間の内部研修の実施状況 (令和7年度)

研 修 名	研 修 内 容	参加職種	参加人数	期 間	講師 (職・氏名)
基本理念・接遇研修	法人理念・服務心得・ハラスメント、高齢者虐待・人権意識、個人情報保護について	常勤職員	4名	4月1日	事務長
接遇研修	法人理念、接遇について(言葉遣いについて)	全職種	8名	4月25、26日	生活相談員
安全対策研修	送迎時における事故発生時の対応について	全職種	7名	5月23、24日	生活相談員
接遇研修	法人職員としてのマナーについて	全職種	7名	7月25、26日	生活相談員
安全対策研修	災害時の備え、対応について	全職種	6名	8月22、23日	生活相談員
感染症対策研修	感染症対策について(発生時の対応について)	全職種	5名	9月26、27日	生活相談員
リスク管理研修	事故報告書について	全職種	6名	10月24、25日	生活相談員
感染症対策研修	感染症対策(インフルエンザ、コロナウイルス)について	全職種	6名	11月28、29日	生活相談員
安全対策研修	安全運転、交通ルールについて	全職種	6名	12月19、20日	生活相談員
身体拘束、高齢者虐待研修	身体拘束や高齢者虐待について	全職種	7名	1月23、24日	生活相談員
安全対策研修	避難訓練、消火器の使用について	全職種	5名	2月20、21日	生活相談員
身体拘束研修	身体拘束「スリーロック」について	全職種	6名	3月20、21日	生活相談員

法人内研修の実施状況 (令和7年度)

研 修 名	研 修 内 容	参加職種	参加人数	期 間	講師 (職・氏名)
接遇強化研修	接遇マナーの基本、高齢者尊厳・法人理念と倫理を意識した接遇、不適切な応対・支援による虐待へのメカニズム、感情マネジメントについて	全職種	7名	7月15日、24日 8月5日	株式会社ニッソーネット

避難等災害訓練の実施状況 （令和7年度）

実施日	訓練種目	訓練内容
12月3日	日中火災避難訓練	厨房からの火災発生時の避難誘導確認訓練
12月15～20日	BCP訓練（自然災害対策）訓練	災害発生時における対応・連絡等の流れについて
1月19～20日	BCP訓練（感染対策）訓練	感染症発生時における発生状況の把握及び初期対応、家族への連絡、感染拡大防止について
2月9日	日中火災避難訓練	保育園玄関付近の火災発生時の避難誘導確認訓練、災害発生時の対応と他部署との連携について

苦情対応

苦情なし

事故対応

発生日	事故内容	事故対策
令和7年 12月3日	「公用車脱輪」 送迎中、利用者が自宅付近でシートベルトを外したため、注意喚起をした時に右後輪を道路脇の溝にはめ、動かなくなる。	①乗車時にチャイルドロックを確認してから運転する。 ②利用者のことが気になり、運転に集中できない場合は、安全に所に停止し、対応してから運転を再開する。 ③車幅間隔を身に着け、周りの状況を確認しつつ、慎重に捜査する。 ④心に余裕を持った運転に努める。
令和7年 12月11日	「公用車の衝突事故」 横断歩道のある交差点で、左後方をミラーで確認し、左折した時に右前方から走行してきた自転車に気づくのが遅れ、ブレーキを踏むが、間に合わず衝突する。	①周囲状況を確認しつつ、慎重に運転する。 ②交通ルールを厳守し、状況に応じて安全に停止できるように運転する。 ③心に余裕を持った運転に努める。
令和8年 2月25日	「公用車の追突事故」 ドライブに出かけ、太子町の国道を走行中に後部座席の利用者が、シートベルトや扉を触っていたため、前方を確認してから後ろを向き、注意喚起をしたところ、前の車が停止しており、ブレーキを踏むが間に合わず、追突したことで、前の車が反動で2台前の車に追突し、多重事故となる。	①乗車時にチャイルドロックを確認してから運転する。 ②前方車両との車間距離を保ちつつ、運転する。 ③周囲状況を確認しつつ、慎重に運転する。 ④利用者のことが気になり、運転に集中できない場合は、安全に所に停止し、対応してから運転を再開する。 ⑤交通ルールを遵守し、状況に応じて、安全に停止できるように運転する。
令和8年 3月9日	「請求ミス」 利用者家族より「利用した日数が1日少ない」と電話連絡あり、確認すると実績が入っておらず、その日に利用していた7名分の実績が入力できていなかった。各利用者家族に連絡し、陳謝するとともに各利用者の担当介護支援専門員に連絡し、限度額を含め、実績確認後、再計算し、請求する。	①当日の実施記録をもとに、入力間違いがないか確認して、実績を生成する。 ②月末の介護支援専門員への実績報告作成時に、漏れや入力間違いがないか、再確認する。 ③請求計算後、間違いがないか、2人で2重チェックを行う。 ④利用者個別請求書も内訳を確認してから発送する。